

2025年1月19日（日）10:00
愛知県特定家畜伝染病防疫部会
農業水産局畜産課家畜防疫対策室
家畜衛生グループ
担 当 草野、吉岡
内 線 3707、3709
ダイヤルイン 052-954-6425

愛知県における高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜の確認 （8例目、9例目、10例目、11例目） 及び第7回愛知県特定家畜伝染病緊急対策会議の開催について

本日、半田市の採卵鶏農場（2か所）、常滑市の採卵鶏農場（1か所）及び阿久比町のうずら農場（1か所）において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました（疑い事例については1月18日午後7時30分発表済み。）。

については、防疫措置を円滑に実行するため愛知県特定家畜伝染病緊急対策会議を開催します。

1 発生農場の概要

(1) 8例目

所在地：半田市

飼養状況：採卵鶏 約12.7万羽

(2) 9例目

所在地：半田市

飼養状況：採卵鶏 約20.6万羽

(3) 10例目

所在地：常滑市

飼養状況：採卵鶏 約5.9万羽

(4) 11例目

所在地：阿久比町

飼養状況：うずら 約25.1万羽

2 経緯

(1) 2025年1月18日（土）の通報内容は、以下のとおりです。

ア 8例目

午前8時10分頃、農場から県西部家畜保健衛生所（武豊町）（以下「家保」）へ、飼養する鶏が5羽以上まとまって死亡している旨の通報がありました。

イ 9例目

午前9時頃、農場から家保へ、飼養する鶏が5羽以上まとまって死亡している旨の通報がありました。

ウ 10例目

午前10時10分頃、農場から家保へ、飼養する鶏が3羽以上まとまって死亡している旨の通報がありました。

エ 11例目

午前11時頃、農場から家保へ、飼養するうずらが5羽以上まとまって死亡している旨の通報がありました。

- (2) 同日、家保の職員が農場に立ち入りし、当該各農場に対して、直ちに①鶏等の移動の自粛、②出入りの際の消毒の徹底及び③農場への関係者以外の立入禁止を指示しました。
- (3) あわせて、死亡した鶏等を検体として鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、陽性であることが判明しました。
- (4) これを受け、県は、各農場を中心とした半径3km以内の区域の農場に対して、鶏等の移動自粛等を要請しました。
- (5) 簡易検査で陽性となった検体について、県中央家畜保健衛生所（岡崎市）において遺伝子検査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザを疑うウイルス遺伝子が検出されたことから、これらの結果を農林水産省に送付し、本日（1月19日）、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることが確認されました。
- (6) 既に、各農場からの鶏等の移動を制限するとともに、各農場の敷地内の消毒等を実施しています。

3 愛知県特定家畜伝染病緊急対策会議の開催

愛知県特定家畜伝染病対策実施要綱に基づき、愛知県特定家畜伝染病緊急対策会議を開催します。取材を希望される場合は、腕章及び社員証を身に着けた上でお越しくください。

- (1) 開催日時 2025年1月19日（日） 午前10時30分から午前10時45分頃まで
- (2) 場 所 愛知県庁本庁舎 3階 特別会議室
- (3) 出席者 知事、古本副知事、関係局長
- (4) 議 題
 - ① 半田市における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び防疫方針について（8例目）
 - ② 半田市における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び防疫方針について（9例目）

- ③ 常滑市における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び防疫方針について
(10例目)
- ④ 阿久比町における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び防疫方針について
(11例目)

4 今後の対応（周辺農場への措置）

半径3km以内は、鶏等の移動が制限されます（移動制限区域）。

対象農場 16農場 約102万羽（速報値）

半径3～10km以内は、鶏等の搬出が制限されます（搬出制限区域）。

対象農場 25農場 約127万羽（速報値）

※ 本件1例目に関連して卵及び家きんの出荷が可能となっていた制限区域内の農場（1月5日午前10時発表済み）については、国との協議を受けて、出荷が可能となりました。（ただし、今回の8、9、10、11例目により新たに制限区域に加わった10農場は除く。）

5 その他

- (1) 我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えられています。

https://www.fsc.go.jp/sonota/tori/tori_infl_ah7n9.html

（参考 食品安全委員会 Web サイト）

- (2) 現場での取材は、移動車両のタイヤ、取材者の靴裏や衣類などにウイルスが付着し、他の農場へ持ち込む恐れが極めて高いこと、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用しての取材は防疫作業の妨げとなるため、厳にお控えくださるようお願いいたします。
- (3) 今後も、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないよう、御協力をお願いいたします。
- (4) 作業等にかかる写真は、県より報道各社へ1月19日（日）午後3時頃を目途に提供いたします。